（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	現に外国人を採用し積極的に資格取得に励んでいる。国籍、性別、年齢に関係なく資格取得や研修等を実施し差別のない体制を整えている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	当たり前の社会の一般的モラルとして一人一人が認識し情報等を共有している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	長時間労働は生産性、安全性を著しく低下させるだけのことと認識し、定時に終えるようみんなで協力し合っている								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	すでに外国人を採用しており、何の問題もなく事業が進められている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働災害等を防ぐために事故事例等情報を共有し常に安全意識を確認しあうチーム作りチーム状態を整えるようにしている			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	いつでもどんな場所でもなんでも自分の気持ちを伝えられるような環境づくりが大切であることを一人一人が理解している			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	【予定】森林も多様性だからこそバランスが整っているようにこれからのチームや組織にも多様性が必要であることを一人一人が理解できるように整備をしていきたい					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格取得や研修への参加など積極的にチャレンジしてもらうことが一人一人の成長につながりそれが会社の成長につながることと理解している				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	各労働法等の原則に沿って一人一人が納得できる体制を整えていきたいと考えている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康こそ最大の財産であり、プロとしてアスリート意識をお互いに持ちながら朝は十分なストレッチを行い、健康に関する多様な情報を共有するようにしている			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物等を適切に管理する体制を今後整備していきたい											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】今現在は理解していないが将来的にしっかりと数字が出せるように体制を整えていきたいと考えている							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】様々なツールを利用して数値化を行い、把握し、目標づくりを策定し段階的に実行していきたいと考えている							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	チェーンソー使用時はチェーンオイルを常時バイオマスオイルに限定して使用している			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	生態系はとても複雑であり目に見えない部分もあるため、少しでも理解できるように動植物等をこまめにチェックするようにしている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ごみの削減はもちろんのこと当社の事業で発生した枝葉幹などをどのように再利用するか今後真剣に取り組む必要がある。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	バイオマスオイルを使用することで水資源の改善に取り組んでいる						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】段階的に調査し、取り組み取り入れていきたいと考えている			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境活動をHP等で情報を公開していく												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	発生した材木等は木質エネルギーとして再利用している							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】野生動物との共存を目指し正しい情報収集等を図っていきたい												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職や贈収賄は目先の利益であり最終的な目標である地域の活性化や地域の喜びにはならないと一人一人が認識している。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正行為等については徹底的にかかわらないことを理解している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本									8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報を適切に管理している																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【予定】自社サプライチェーンをメーカーと情報交換しながらしっかりと把握していきたいと考えている																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先とは常時コミュニケーションを大切にとりいろいろな活動や情報交換を行いながら持続可能なそして倫理観ある活動につなげていきたいと考えている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	安全には最大限に注意してISAツリーワーカー国際資格の取得や最新の欧米の安全管理情報ansizを取り入れている			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	安全に配慮しながらもより付加価値のあるサービスや商品づくりや顧客満足に真摯に取り組んでいる									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	ハスクバーナー社の次世代型チェーンソーを導入しホームページでもモデルとして採用されている。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	交通法規に則り大型のトラック等の運転の際は十分に留意するとともに通行止めの際は出来るだけ丁寧な対応をとるようにしている				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	環境活動や人権問題など様々な問題に対しSNSを通じて寄付活動を行っている。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の循環型社旗育成のために積極的に利用している								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	【予定】ビジョンやコンセプトを理解して一人一人の成長が地域の発展につながるということを徹底していきたい。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令順守やコンプライアンスの重要性を一人一人が理解している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】将来的には担当部署を設置し、担当者の選任を行う																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	【予定】自社のステークホルダーをよく理解し適切に対応するための研修等を行い、適切に対応していきたい																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクの洗い出しは毎朝行い、一人一人の評価を話し合って上で適切に対策ができるようにしている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】自社の活動がどれぐらい社会的な影響があるかを一人一人が考え責任を持った対応ができるように政策を整えていきたい																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事故があった際の速やかな対応ができるようにATI主催のTARSセミナー等に参加している									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	起業して間もないためそこまで進んでいません								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【環境教育】ツリークライミング体験会を行いながら、森林環境教育を行っている	ツリークライミング体験会を2019年は2回行う															15		

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）